

2012年 ドリームごよみ 2月

高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム



犬用クッキー
試作はじまる！



調布ドリームでは、来年から就労継続支援B型事業を取り入れ多機能型事業所としていくために、ペット用クッキー製造販売の準備を始めました。

ペット用クッキー実行委員の、ひじちゃんがネットで調べたレシピをもとに、元ケーキ職人のかずさん(家族ボラ)の指導で、まずは職員が試作をしました。思ったより楽しい作業で人が食べてもとてもおいしい出来栄えに感激!! 次はより犬の健康を考えた材料で作ってみることになりました。

そして今月半ばには、職員の指導でトレーニー達によるペット用クッキー試作が始まります。

ところで、地域で大正琴をされる方が、今月は演奏において下さることになりました。楽しみにしています。



今月の第2回当事者会…25日(土) 13時~15時

トレーニー(当事者)2人が司会を務める話し合いです。(偶数月に開催)
高次脳機能障害当事者の方、どなたでもお出で下さい。

2月の予定 (都合により変更もあります) ボランティア募集中

日	月	火	水	木	金	土
			1 ドリームカジノ 音楽・自主練	2 サロンMT パソコン	3 1月の振返り 卓球	4 料理教室
5 休日	6 休み	7 認知リハ カラオケ	8 音楽・自主練 (午後は休み)	9 ゲーム パソコン	10 料理 MT 卓球	11 祭日
12 休日	13 休み	14 大正琴演奏 運営委員会	15 犬のクッキー 準備・試作	16 サロン/クッキー 実行委員会 パソコン	17 映画 MT 卓球	18 絵手紙 出前映画 「家族ゲーム」
19 休日	20 休み	21 料理 MT 頭の体操 ジャズピアノ	22 編物教室 サロン MT サロン委員会	23 ドリームカジノ パソコン	24 認知リハ 卓球	25 絵を描こう 当事者会
26 休日	27 休み	28 料理 MT SST(さん)	29 犬クッキー試作 クッキーMT	火曜日~土曜日 10:00~15:00 10:00 ラジオ体操 MT ミーティング、 SST 社会技能訓練		



1月のご報告



【サロン/クッキー作り実行委員会】

調布ドリームでは日々のプログラムの他に、地域のお祭りや年3回のドリームサロンなどの行事があります。これまでもミーティングを重ねて 트레이ニーの意見を集約してきましたが、さらに一歩進めてトレーニー主体の実行委員を募ることになりました。

ひとつは3月17日(土)に予定されている「第16回ドリームサロン」の実行委員会。もうひとつは来年春に就労継続支援B型事業を目指して「ペット用クッキー製造・販売」のための実行委員会で、トレーニーにはどちらかに入ってもらっています。

1月19日の第1回目は、二つの実行委員会に分かれて、それぞれ活発な発言が聞かれました。これから回を重ね、皆の力で形になっていく過程を大事にしていきたいと思っています。(ムーラン/職員)



(1) サロン実行委員会より

ドリームの恒例行事となったドリームサロン、今回で16回目となります。実行委員会は初めての試みで正直まだ手探り状態です。トレーニー、職員意見を交わして良いサロンをつくっていこうと日々奮闘中です。そんな中頼りない委員長を支えるべく、毎回多くのトレーニーに参加してもらっています。ありがとうございます。もっと支えて下さい。今回は「歌を歌おう」で「マルマル・モリモリ」を歌う(+踊る)ことになりました。その為になごちゃん&くにちゃんの歌練習も始まります。練習頑張りましょう。(こうへい/職員)

一生懸命に自分の為に頑張ってます。応援よろしくお願いします!(マークン/トレーニー)



(2) ペットのクッキー作り委員会

このたび、犬のクッキー作りの実行委員になりました。クッキー作りは初めてです。考えるのは、まあ・・・楽しい。犬のみなさんに喜ばれるクッキー作りを、がんばっていきたい。(たかふみ/トレーニー)

【防災訓練】

1月27日、消防署の方に来ていただき、消火器の使い方と避難のしかたについて訓練を行いました。

避難のしかたについて一通り流れを確認してみましたが、いざやってみると、まず、誰が指示を出すのか、そして誰が消防へ通報するのかなど、その場で色々なことを判断しなければならないことに気がきました。

また、身近なところで、注意すべきことがありました。ひとつは「履き物」です。ドリームにいる間に火事や地震が起きて避難する際、靴を履き替える時間はないので、室内履きにスリッパを使っている人は、靴に変えてもらうことになりました。もう一つは、「薬」です。皆さんが普段飲んでいる薬を控えておくことになりました。

今回の訓練が、災害への備えについて考えるきっかけになりました。

(いしちゃん/職員)



【調布市障害者地域自立支援協議会主催 講演会】

「つながる 人・地域・支援～いまを生きる私たちの現状を語る～」

1月28日に、調布市文化会館「たづくり」での講演会で、身体障害、高次脳機能障害、知的障害、精神障害のある方がシンポジストとして発表しました。調布ドリームのやまちゃんが、当事者としての体験を話しました。原稿の一部を掲載させていただきます。

<発表原稿の抜粋>

2007年4月27日、自転車同士の事故で、車道から歩道に飛ばされ頭を強打してしまいました。たまたま通りかかった女性の方に声をかけられ、意識が戻りました。何がどのようにか分からないまま体は何ともなかったのですが、会社に向かいました。職場に着くと頭が変、気分も悪く、自転車と衝突頭部を打った事を職場に伝えると、そのまま自宅に帰らせて頂きました。しかし自宅に向かうはずのわたしは気が付くと反対の三鷹駅に居ました。はて、私は何処に行くのか、なぜここに居るのかマツタク分からなく、暫くそこにたたずんでいました。そして思い出しました。事故にあったことを(中略)

心療内科、リハビリテーション科の検査結果で、言語、記憶、情報処理、注意力低下、遂行機能障害あり、脳外傷・高次脳機能障害と診断されました。(中略)

人と接するのが怖かった私をドリームの皆さんは、自然な形で受け入れ緊張している私に優しく話しかけて下さり、話し出すのをゆっくり待って下さいました。ドリームのいろいろなイベントにも参加し、2008年7月TKK高次脳機能障害シンポジウム講演会に参加した時は、高次脳機能障害って何?、不安の真ただ中にいた私はこの講演で自分の病が理解でき、とても安心したのを憶えています。(中略)



また迷ったり辛かったりした時、私は「調布ドリーム」に帰ります。そこには温かくゆっくり語り合える職員さんや仲間がいます。以前から興味があったパソコン教室は楽しく、SSTでは人との会話、相手に上手に伝える話し方などのトレーニングをします。(中略)

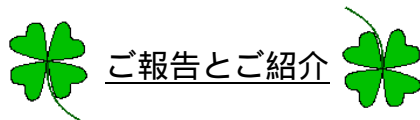
社会では高次脳機能障害を知らない人がまだまだ多い事を知りました。説明が上手に出来ない私は、「そんな事年を取れば誰でもある」で流されてしまいます。一人でも多くの方に高次脳機能障害を理解して頂けたら、もっと働き易くなるのではないかと思います。私は大勢の方の思いやり優しさ励ましのお蔭で、再び働く勇氣と喜びを知ることが出来ました。多くの出会い体験は私の大切な宝物です。(やまちゃん/ 트레이ニー)

【ウィンドー美術館】

12/20~2/20まで福祉センター南側通路のウィンドーに、トレーニーの力作、3点(かまぼこ板・絵画・絵手紙)とグッズメイクのX'masリース等を展示。今回はガラス面に貼るだけでなく、上から吊り下げ方法で、かまぼこ板、絵手紙は行い、板の重さでパネルが折れない様に裏に芯を入れ、下方に発砲スチロールの台にX'mas



グッズをディスプレイ。初制作の、かまぼこ板は色鮮やか、それぞれ個性が出ていてよかったかと思えます。展示スペースは十分に頂けました。次回は型の異なる板からイメージして描く。活動紹介も個々を拡大しアピール出来れば、手作り品の華やかさの工夫も感じました。トレーニーの創意工夫に期待します。今後もウィンドウ美術館が継続され、多くの方々に紹介される展示場所であればと思います。(かずさん/家族ボラ)



東日本大震災チャリティバザーのご報告

1月14日のチャリティバザーは、地域のO様よりプラモデルや画用紙等を、K様より額縁等を、みほさんから電気スタンドのご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。収益金13,450円を、「NPO法人いわて脳外傷友の会イーハトーブ」へお送りしました。

ご寄付よろしくお願ひ致します

調布ドリームの活動に、いつも暖かいご支援をありがとうございます。

【ご寄付のお振込先 郵便局 00180-9-651828 「調布ドリーム」】

通信欄に「寄付」と明記のうえ、ご氏名、ご住所、お電話番号をご記入下さい。追って領収書を送らせて頂きます。またドリームごよみにお名前を掲載させていただきますので、匿名ご希望の方は通信欄にご記入願ひます。

東京都の高次脳機能障害専用電話のご紹介

東京都心身障害者福祉センター

電話： 03-3200-0077

月～金 9時～12時、13時～16時（祝日・年末年始を除く）

とうきょう高次脳機能障害インフォメーション

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/index.html>



調布ドリームご利用ガイド

- *活動日：週5日(火～土) 10時～15時。 送迎なし。 昼食は各自持参。
- *プログラム：卓球、音楽、認知リハ、パソコン、ゲーム、グッズメイク、絵手紙、編物、SST、絵画、料理、カラオケ、頭の体操、チャリティバザー、ジャズピアノ、映画鑑賞、地域イベント参加、ドリームサロン開催 etc.
- *職員：施設長1名、サービス管理責任者1名、支援員3名。
- *リハビリ講師：15名、家族ボランティア・一般ボランティア数名。
- *定員：20名 ご利用には障害福祉サービス受給者証が必要です。(お住まいの各市区障害福祉課に申請)
- *障害者手帳がなくても高次脳機能障害の医師の診断書がとれる方、また介護保険の第2号被保険者(40～65才未満)の方もご利用いただけます。
- *利用料は障害者自立支援法の規定に基づきます。所得により月額負担上限額があります。
- *随時ご相談を受け付けます。まずは見学にお出でください。不明な点は、その際にご相談ください。

調布ドリームでは、みんなが呼称を申告し、対等で打ち解けやすい呼び方を取り入れています

<<編集後記>> 本文にもありますが、やまちゃんの講演原稿はとてもわかりやすく、当事者さんのもつ厳しい思いが伝わってくるようでした。よい原稿をありがとうございます。(まっ)

「ドリームごよみ2月」2012年2月9日 発行

NPO法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム <http://www.chofudream.com>

(〒182-0036 調布市飛田給2-22-7 TBKビル1階、京王線「飛田給」駅南口徒歩1分)

TEL/FAX: 042-444-3068 E-mail: info@chofudream.com 代表 吉岡千鶴子

